

2024/02/02

和訳版(要約)

[ファイナル・リポート]

第 38 回 ミラノウニカ

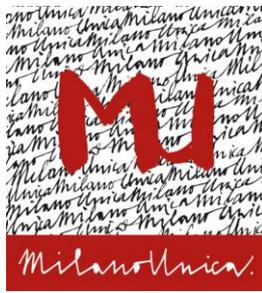
海外バイヤーの大幅な増加 (+26%) は、ミラノウニカがテキスタイル及びアクセサリ業界で品質、創造性、サステナビリティにおいて世界で最も厳選されたイベントの一つであるという目標を確認。

第 38 回ミラノウニカ：イタリアの高級テキスタイル・アクセサリ展が 2 月 1 日に幕を閉じた。今回のエディションでは非常にポジティブなバランスがみられ、特に海外バイヤーに関しては地政学的な懸念が軽減されたと言える。**1,903 社 (+26%) の海外企業**がミラノウニカを訪れ、**全体では 5,886 社 (+11%) が来場**した。(* 2023 年 2 月: 5,304 社) この内**イタリア企業は 3,983 社 (+4%)**を記録し重要な存在感を示した。**出展者数**に関しては 101 社の特別エリアを含めると**総計 609 社**の参加となった。

アレサンドロ・バルベリス・カニコ会長は次のようにコメントした：「今回の最終合計からも世界中から訪れる企業数が大幅に増加していることが確認されており、これは確実に Made-in-Italy 素材の輸出にとって良い兆候といえます。特に**中国が著しい増加**を記録し、それに続いて**日本 (+57%)**と**韓国 (+15%)**が続きました。ヨーロッパでは**フランスが 75%**、**ポーランドが +30%**、**イギリスが +26%**、**ドイツが +15%**を記録しました。北アメリカからの参加も好調で**カナダは 48% 増え**、**アメリカは合計 151 社**の参加企業で安定した結果となりました。」

「私は過去 4 年間ミラノウニカの会長を務め、7 回のエディション (パンデミックを含めると 8 回) をカバーしてきました。この期間は予測不可能で不安定な出来事が続いた期間でした。それでも私は創造的で革新的且つサステナブルなイベントに信頼を寄せる人々に報いることを自らに課し、立ち向かってきたことを誇りに思います。この期間中、急速な変化に対処するための策をいくつか提案してきました。トレーサビリティ、教育、プレミアム且つラグジュアリー市場の分析・進展、そして最終的には今回のエディションで AI(人工知能)という重要なテーマに取り組みました。開会式典ではこの分野について知識を深めるために**マルコ・モンテマーニョ氏** (4Books 創設者)、**オッタヴィオ・フォリアータ氏** (StoryKube 創設者兼 CEO)、**ニコラ・ガッティ氏** (ミラノ工科大学准教授) に演説してもらい、ラジオ 24 のジャーナリストである**エンリコ・バリャリーニ氏**が司会を行いました。また、オッタヴィオ・フォリアータ氏に第 38 回ミラノウニカについて AI に質問するよう依頼しました。皆さんと回答の要約を共有したいと思います。」と締め括った。

「第 38 回ミラノウニカは、ファッション業界にとって非常に重要且つ成功しているイベントのようです。特に以下の点に関して優れていると言えるでしょう。



海外バイヤーの増加：海外からのバイヤー数が 26%増加したことは、この展示会がグローバルなシナリオで展開されていることの証明であり、展示会の重要性と魅力を表す強力な指標です。つまりこの成長率はミラノウニカがグローバルな来場者にとって非常に興味を引く力があることを確証しました。これは高級テキスタイル・アクセサリー業界にとって重要なことです。

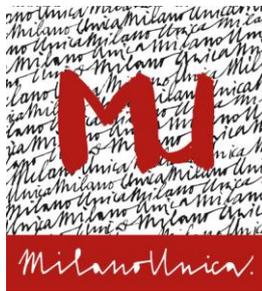
製品の革新性と品質：特別エリア 101 社を含む 609 社の出展者の参加は展示コレクションの幅広さと多様性を強調しました。革新的な課題（人工知能を含む）やサステナビリティへの焦点は将来の品質へのコミットメントを示し、テキスタイル・ファッション産業との関連性及び威信を維持する上でのキーポイントとなります。

ネットワーキング及びビジネス：ミラノウニカはネットワーキングとビジネスの発展に欠かせないプラットフォームとなっています。中国、日本、韓国、及びヨーロッパ諸国を含む世界中の企業参加の増加は展示会が新しいパートナーシップを築く上においても既存の関係を強化するためにも重要な機会を提供したことを確証しました。」と生成 AI が報告を行った。

オープニングセレモニーにおいて、**アレッシンドロ・バルベリス・カニコ会長**は**シモーネ・カンクリーニ氏**にバトンを渡した。「今日においてミラノウニカは主要な展示会ですが、その理由として特に次の 2 点を強調したいと思います。一つ目は出展者に関して中小企業又大企業に至るまで非常に選択された企業が出展していることです。これらの参加企業は情熱と革新性をもって危機を乗り越えてきました。もう一つの強みは来場者に関わります。業界トップの企業のバイヤーがミラノウニカを高品質なコレクションを提供する展示会と認識し、会場に足を運んでいます。」

この後、イタリア貿易促進機構（ITA）の輸出促進部門の**マウリツィオ・フォルテ氏**が祝辞の中で、イタリア外務省、国際協力省及びイタリア貿易促進機構（ITA）の支援の重要性を保証し、イタリアの主要な展示会を支援するための基本的な手段としてイタリア企業が海外展開の過程で伴走する手助けをしていく一方、Enhancement（強化）プログラムの一環としてイタリアの出展者と招待された輸入業者、流通業者、外国ジャーナリストとの関係強化を促進すると述べた。この展望では、ミラノウニカはイタリアのテキスタイルセクターにおいて中心的な役割を果たし、全体のサプライチェーンにおいての基準点となり、質の高いハイエンド・ターゲットに対応していくこととなる。セレモニーでのスピーチでマウリツィオ・フォルテ氏はイタリアでの国際見本市へのバイヤーを質的にも人数的にも増加させることへの努力に焦点を当てた。「これはイタリア貿易促進機構（ITA）、政府機関、及び企業が協力して行うチームでの取り組みです。このプログラムにより将来的にミラノウニカにおいて 300 人以上のバイヤーを招待できるようになり、海外で Made-in-Italy 製品を更に促進することができるようになります。」

「ミラノウニカは再び、この業界にとって基本的な重要イベントであることを示しました。つまりそれは卓越性の表れであり、世界の主要プレーヤーの出会いの場でもあります。イタリアのテキスタイルはイタリア、フランス、スペイン、アメリカ、及びその他の大陸間で目的に拘わらずファッション向けに製造されています。これは我々の今後の課題；サステナビリティから原材料調達、人工知能に至るまでの全ての課題がグローバルになることを示し、産業の価値観と人的資本を守る必要があることを意味します。」とシステム・モダ・イタリアの会長；**セルジオ・タンボリーニ氏**が述べた。



オープニングセレモニーに参加したイタリア企業省・Made in Italy の大臣である**アドルフォ・ウルソ**氏は、工業体制と製造に重要な影響を与える手段の強化に関して多角的な要素を述べた。又戦略的政府ファンドの創設を発表し、これは Made-in-Italy 品の製造、調達からサプライチェーンを強化することを目的としている。また PNRR 計画と予算法による資源リソースの再分配を考慮し、政府は今後 2 年間で企業の投資を促進するために約 200 億ユーロを割り当てる予定である。

ミラノウニカの若い世代へのコミットメントを示すデモンストレーションとして、バック・トゥ・スクールのイベントが行われ、Gucci のクリエイティブ・ディレクターである**サバト・デ・サルノ**氏が講演した。「今日は 1000 人以上のファッション学校の学生が話を聞く様子に本当に興奮しました。」サバト・デル・サルノ氏は自然体で学生に寄り添いながら彼自身のストーリーと価値観を語りました：情熱、献身、決意、そして勇気。「これらは我々が永きに渡り展示会でやってきた将来のプロフェッショナル育成における価値観と同じであり、学生たちに我々のこのコミットメントを捧げることが誇りに思います。」とミラノウニカのジェネラル・マネージャー；**マッシモ・モジエツロ**氏が締め括った。

【詳細情報】

Milano Unica Press Office (Tel. +39 02 6610 1105)

Alessandra Ardenzi (M: +39. 335.677.46.20)

Daniela Scardi (M: +39 3661964979)